



正門南の卒業記念碑 (S50)

麻里布小だより 11月

<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/ma>

令和3年11月号 大野元良

「こころ」と「からだ」を鍛え大きな実りを！！

あっという間に2学期の折り返しの時節となり、秋本番を迎えました。子どもたちは、日々元気に学習に取り組んでいます。先般、生徒指導主任を中心に「元気で気持ちのよいあいさつ」の実践を呼びかけたところ、登校時のあいさつの声が着実に大きくなり、確かな手応えを感じたところです。あいさつはコミュニケーションの原点ととらえ、相手を意識することの大切さをしっかりと価値づけながら「こころ」の成長を支援していきたいと思えます。

一方で、全国的には新型コロナウイルスは減少傾向（原稿作成日10月21日現在）にあり、少し安堵しているところですが、引き続き危機管理意識を高く維持しながら、教育活動を進めてまいりたいと考えています。

さて、秋は気候がよく、自分の趣味にじっくりと浸ることができることなどから「読書の秋」と言われます。また、前回の東京オリンピックが開催された季節でもあり、「スポーツの秋」とも言われます。さらに、野菜や果物、魚など旬の食べ物が店頭にも並ぶことから「食欲の秋」とか、その他にも「芸術の秋」と表現されることはご存じのとおりです。

学校の教育活動においては、「～の秋」に乗じて、じっくりと学習に取り組ませ、学力の向上はもちろん「こころ」と「からだ」の成長を促す2学期の後半にしたいと考えています。

教員は、授業力・指導力の向上をめざし、公開授業を積極的に行っています。10月号でもお知らせしたとおり、子どもたちが「わかる」「できる」授業づくりに熱心に取り組んでいるところです。こうした中、11月には、土曜参観日を実施いたします。お子様の学習の様子をしっかりとご覧になっていただきたいと思えます。

「からだ」の面では、持久走の取組を開始します。コロナ禍のため、大会としての実施は見送っておりますが、子どもたちが目標を掲げ、体力向上につながる取組をしっかりと支援してまいります。持久走に限りませんが、目標を設定して努力する営みは、「こころ」の成長にも大きく寄与します。ご家庭での励ましをよろしくお願いいたします。

「食」に関することでは、毎月の給食だより「スクールランチ」をご覧いただいていることと思えます。学習に関連するメニュー、季節を感じさせる食材・地場産食材の活用、郷土料理の提供など、たくさんの工夫を凝らした内容となっていることにお気づきだと思います。また、風の便りで、給食レシピ紹介が好評だと耳にしました。「食欲の秋」を迎え、改めて給食についても、話題にしたいと思えます。

学校生活をより良いものにするための話し合いの場として、代表委員会も充実させてきています。また、縦割り班でのそうじも開始しました。高学年がリーダーシップを発揮して、下級生を思いやる「こころ」の育ちも期待するところです。

子どもたちの「大きな実り」が確かなものとなるよう、教職員が一丸となり支援してまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



代表委員会



「自然教室」 「修学旅行」

ご協力ありがとうございました！

5年生は、9月28日から1泊2日の自然教室に行ってきました。

集団の一員として行動する中で、友達と協力することや、ルールやマナーを守って生活することの大切さを学びました。コロナ禍のため時間の制約が大きく、慌ただしい2日間でしたが、終始意欲的に活動する姿が印象的でした。

6年生は、10月13日から1泊2日の修学旅行に行ってきました。松下村塾の見学や萩城下町散策、秋芳洞・秋吉台、サファリパークの見学など、文化財や自然などに触れ、学びのある楽しい2日間を過ごしました。仲間と過ごした時間は、生涯の思い出となることでしょう。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

5・6年生は、それぞれが2日間の経験を生かし、高学年として麻里布小学校をしっかりとリードしてくれることを期待しています。

～「平和学習」に取り組んでいます～

5年生は、「平和学習」に取り組んでいます。10月1日には、地域にお住まいの、河角 衛様を講師にお迎えして、戦争についてのお話を聞きました。

岩国空襲の様子や当時の思いを詳しくお話いただいたことで、戦争の悲惨さに気づき、これからどのように生活していけばよいかを真剣に考えることができました。

今後、原爆被害者の会の方からお話を伺うとともに、広島への社会見学をとおして、学びを深めていくことにしています。



～「手話体験学習」を実施しました～

9月22日と24日の2日間、3年生は手話体験学習に取り組みました。岩国市障害者サービスセンターの山根かおる様と障害者福祉会の大明地康介様を講師にお招きして、耳の不自由な方の生活の様子を伺ったり、ジェスチャーゲームを体験したりして、手話で言葉や気持ちを伝える大切さについて学びました。

児童からは、「あいさつの仕方がわかってうれしい」「もっと他の手話の表し方について知りたい」「手話を覚えて、助けが必要な方のために何かしたい」などの感想を聞くことができました。こうした学びが共生社会実現の一助となることを期待しています。

また、10月14日には、岩国点訳あすなろ会から4名の講師をお迎えして、点字体験学習を行いました。



～ご厚意に感謝申し上げます～

このたび、学校運営協議会委員の高橋正徳様から、写真のとおり新しい管理機（耕うん機）を寄贈していただきましたので、ご紹介いたします。8月号でも過分なご寄付をいただいたことをお知らせしましたが、重ねてのご厚意に心から感謝申し上げます。

花いっぱい運動や、栽培活動の充実に向けて、花壇や栽培園で大切に活用させていただきます。

